

令和3年度経済学部グローバル社会文化研究センター個人研究テーマ一覧

No.	資格	氏名	研究テーマ
1	教授	清水 純	民族の歴史と現在に関する文化人類学的研究
2	教授	安田 静	劇場という場について
3	教授	坪内 浩	技術革新、少子・高齢化とグローバル化が産業構造、成長と所得分配に与える影響、及び変化しつつある経済と金融の関係が経済に与える影響
4	教授	リケ	The New Supply Chain and Production Network in East Asia after the COVID-19 Pandemic
5	准教授	位田 将司	1920～30年代における日本文学と哲学思想との理論的關係をめぐる研究
6	専任講師	佐藤 温	幕末社会における文人の諸相についての研究
7	教授	秋山 孝信	英語における前置分詞形容詞の意味的特性と使用制約について
8	教授	伊佐敷 隆弘	形而上学の研究(「存在」と「時間」を中心に)
9	教授	卜部 勝彦	地図表現特性を意識した地理教育の地図指導に関する研究
10	教授	小笠原 祐子	アイデンティティと就労の国際比較ジェンダー分析
11	教授	奥田 智	高校生を対象とした能動的な市民を育成するためのプログラム開発
12	教授	金田 耕一	福祉国家の思想史的研究
13	教授	坂野 徹	科学の歴史の総合的研究
14	教授	篠ヶ谷 圭太	予習が授業内の相互作用および授業後の学びの質に与える影響
15	教授	鈴木 基子	張愛玲と宋淇夫妻の往復書簡集について
16	教授	武廣 亮平	1) 日本古代社会における交通と移動 2) 古代出雲の氏族と地域社会
17	教授	田村 真奈美	英国ヴィクトリア朝文学の文化研究
18	教授	徳永 志織	効果的なスペイン語教育法及びそのための教材作成
19	教授	根村 直美	クリティカルなポストヒューマニズムの倫理的地平
29	教授	村岡 哲郎	空間認知と複数肢協調動作の関係
20	教授	山岸 郁子	大衆文学の研究 1950-70年代を中心として
21	教授	リチャード・パウエル	多司法権主義と多言語主義の比較と相関分析
31	准教授	生亀 清貴	分割表解析における潜在分布の推定に関する研究
22	准教授	岡島 慶	アメリカ文学史の整理と英語教育の橋渡しについて
23	准教授	岡本 奈穂子	ドイツ、ドレスデン市における移民・難民の社会統合政策
24	准教授	笠貫 葉子	認知言語学的視点からの比喩研究
25	准教授	加藤 嘉津枝	①日本人EFL学習者における中学英語の定着度について ②フィンランドの教育法と日本の英語教育
26	准教授	久井田 直之	オンライン授業に対応した教育コンテンツ開発と教授法-CLILの実践を中心に
27	准教授	杉藤 久志	Chaucer以降の夢と虚構
28	准教授	バターフィールド・ジェフリー・リー	英語由来の外來語使用の英語学習者への英語の理解度や正確性における影響
29	准教授	ハッチンソン・キャロライン	英語教育
30	准教授	藪越 知子	EFL学習環境における自己調整学習-英語習熟度との関係
31	専任講師	桑山 啓子	中英語期における準動詞の用法について
32	専任講師	越澤 亮	移動ターゲットの軌道を予測している時における視線活動と脳活動様式-放物線移動するターゲットを用いた検討①
33	専任講師	高草木 邦人	近現代ルーマニアにおけるローマ皇帝の記憶
34	専任講師	田中 圭	ドローンを用いた水稲生育のモニタリングに関する研究
35	専任講師	田中 菜採	英語学習者向け速読教材の言語特性の検討と教材作成基準の提案
36	専任講師	戸塚 英臣	ハミルトニアン・モンテカルロ法を用いたLevyの安定分布のベイズ推定とその実証研究
37	専任講師	林 直樹	日本語・日本語社会の実態把握
38	専任講師	平木 貴子	都市型キャンパスに通学する大学生の睡眠状況改善および運動習慣獲得の促進要因および阻害要因の検討②